

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年11月9日

【四半期会計期間】 第24期第3四半期(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

【会社名】 クックパッド株式会社

【英訳名】 Cookpad Inc.

【代表者の役職氏名】 代表執行役 岩田 林平

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号

【電話番号】 03-6368-1000

【事務連絡者氏名】 執行役 犬飼 茂利男

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号

【電話番号】 03-6368-1000

【事務連絡者氏名】 執行役 犬飼 茂利男

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第23期 第3四半期連結 累計期間	第24期 第3四半期連結 累計期間	第23期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上収益 (第3四半期連結会計期間)	(千円) 8,697,820 (2,911,162)	(千円) 8,103,261 (2,701,363)	11,753,448
営業利益	(千円) 793,762	144,785	306,867
税引前四半期(当期)利益	(千円) 740,099	138,225	269,079
四半期(当期)利益(損失)	(千円) 172,057	187,010	1,353,018
親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)利益(損失) (第3四半期連結会計期間)	(千円) 493,744 (204,019)	116,017 (63,666)	968,724
四半期(当期)包括利益	(千円) 236,635	610,511	1,158,754
親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)包括利益	(千円) 85,052	307,484	774,460
資本合計	(千円) 25,739,844	24,227,169	24,821,521
資産合計	(千円) 28,096,615	26,157,120	27,205,429
基本的1株当たり四半期(当期)利益 (損失) (第3四半期連結会計期間)	(円) 4.59 (1.89)	1.07 (0.59)	9.01
希薄化後1株当たり 四半期(当期)利益(損失)	(円) 4.59	1.07	9.01
親会社の所有者に帰属する持分合計	(千円) 24,218,912	23,071,871	23,363,196
親会社所有者帰属持分比率	(%) 86.2	88.2	85.9
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円) 383,797	357,969	1,024,154
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円) 126,274	202,802	157,706
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円) 321,356	332,232	420,093
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円) 21,896,356	22,428,686	23,105,395

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上収益には、消費税等は含まれていません。

3. 上記指標はIFRSにより作成された要約四半期連結財務諸表及び連結財務諸表に基づいています。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、及び、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う当社グループの財政状態及び経営成績に重大な影響は生じておりませんが、今後の推移状況については注視してまいります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において当社が判断したものです。

(1) 経営成績の状況

2020年12月期第3四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年9月30日）の業績は、以下のとおりです。

（単位：百万円）

	2019年12月期 第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	2020年12月期 第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	前年同期比
売上収益	8,697	8,103	6.8%
営業利益	793	144	81.8%
税引前四半期利益	740	138	81.3%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	493	116	76.5%

当社グループは「毎日の料理を楽しむにする」というミッションの下、日本のみならず世界中の料理の作り手を増やすべく、料理に関する様々な課題解決に向けた積極的な投資を行っています。このミッションについて、当社グループの事業活動の目的・存在意義を明確にするため、定款に「当社は、『毎日の料理を楽しむにする』ために存在し、これをミッションとする。」、「世界中のすべての家庭において、毎日の料理が楽しみになった時、当社は解散する。」という記載をしています。

世界中の人々の生活は資本主義体制の中で非常に豊かになりました。貧困に悩む人は減り、医療技術の革新により人類の寿命は長くなりました。しかしながら、生活は豊かになりましたが、肥満や生活習慣病、バーチャルな人間関係の偏重がもたらす心の病は増加しました。また、「地球」の健康という意味でも、CO2排出量の増加、オゾン層の破壊、土壌や海洋の自浄作用を超えた汚染等大きな犠牲を払ってきました。

外食やデリバリーの普及によって、安く美味しいものが手軽に食べられるようになりましたが、それらの食品を流通させるために、多くの森林が伐採され、ゴミも増え続けています。結局、今までであった問題を解決する中で、また新たな問題を作っているに過ぎないのではないかと当社グループは考えています。

ひとの健康に必要なものは、食事、運動、睡眠といわれています。世界でもっとも頻度高く行われている社会活動は、家族での食事です。つまり食は、地球にも、ひとにも、社会にも大きな影響を与えているといえます。この食の良し悪しが地球と、ひとと、社会のこれからの分岐点になると考えています。

当社グループは、食の世界を良くするには、「作り手を増やすこと」だと考えています。資本主義社会では、どうしても利益の追求が優先され、結果、地球の未来を犠牲にすることが多くなりますが、作り手になると様々な「気づき」が増え、より正しいと思う考えに基づいて「自ら変える力」が強くなります。「作り手」で居続けてもらうためには、料理が楽しみに、それも、毎日楽しみになる仕組みづくりが必要だと思っております。料理をもっとクリエイティブで楽しいものにしたい。「つくること」をワクワク楽しいことにしたい。「作業」ではなくどんどんうまくなるものにしたい。料理をとおして、他の人とのつながりが楽しみとなり増えていくようにしたい。そんな風に考えています。

世界中の70億人のなかには、すでに料理を楽しんでいる「作り手」がたくさんいます。そのひとたちのエネルギーや、知恵や、思いや、気持ちが人々を励まし助けになるようなコミュニティをつくりたいと思っています。当社グループは地球、ひと、社会、の健康を「毎日の料理を楽しむにする」ことによって実現していきます。

当第3四半期連結累計期間における売上収益は8,103百万円（前年同期比6.8%減）となりました。これは主にその他売上において、通信キャリアとのレベニューシェア型の売上収益がサービス終了に伴い減少したこと、お

よび国内レシピサービス広告売上において、ネットワーク広告の販売単価が下落し、売上収益が減少したことによりです。販売費及び一般管理費は7,680百万円（前年同期比1.0%減）となりました。これは主に、新規事業にかかる人員数や費用は増加したものの、新型コロナウイルスの影響により旅費交通費や研修費が減少したこと等によりです。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における営業利益は144百万円（前年同期比81.8%減）となりました。また、税引前四半期利益は138百万円（前年同期比81.3%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、法人税等を計上した一方で、CookpadTV株式会社において非支配持分に帰属する四半期損失が発生したことにより、116百万円（前年同期比76.5%減）となりました。

当社グループは、「毎日の料理を楽しむに作る事業」の単一セグメントであります。売上収益の内訳は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2019年12月期 第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	2020年12月期 第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	前年同期比
毎日の料理を楽しむに作る事業	8,697	8,103	6.8%
国内レシピサービス会員売上	5,546	5,485	1.1%
国内レシピサービス広告売上	2,148	1,928	10.2%
その他売上	1,003	689	31.3%

当第3四半期連結累計期間における国内レシピサービス会員売上は5,485百万円（前年同期比1.1%減）となりました。新型コロナウイルス感染拡大期に行ったプレミアムサービス入会無料施策は好調だったものの、有料会員への流入が限定的であったこと等によりです。

当第3四半期連結累計期間における国内レシピサービス広告売上は1,928百万円（前年同期比10.2%減）となりました。これは主にネットワーク広告の販売単価が下落したこと等によりです。

当第3四半期連結累計期間におけるその他売上は、689百万円（前年同期比31.3%減）となりました。これは主に通信キャリアとのレベニューシェア型の売上収益が減少したこと等によりです。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,048百万円減少し、26,157百万円となりました。このうち、流動資産は484百万円減少し、24,927百万円となり、非流動資産は563百万円減少し、1,229百万円となりました。

これらの増減の主な要因は、流動資産については、主に為替の円高影響等により現金及び現金同等物が676百万円減少したことによるものです。非流動資産については、減価償却等により有形固定資産が472百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ453百万円減少し、1,929百万円となりました。このうち、流動負債は21百万円減少し、1,407百万円となり、非流動負債は432百万円減少し、522百万円となりました。

これらの増減の主な要因は、非流動負債については、リース負債の返済により、リース負債が391百万円減少したことによるものです。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ594百万円減少し、24,227百万円となりました。この主な要因は、為替の円高影響等によりその他の資本の構成要素が407百万円減少したこと、非支配持分が303百万円減少したこと及び利益剰余金が116百万円増加したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ676百万円減少し、22,428百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、357百万円となりました。この主な要因は、税引前四半期利益138百万円、減価償却費及び償却費407百万円を計上したこと、営業債権及びその他の債権が161百万円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、202百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出136百万円が生じたことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、332百万円となりました。リース負債の返済による支出292百万円が生じたことによるものです。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	331,776,000
計	331,776,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年11月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	107,429,400	107,429,400	東京証券取引所 市場第一部	完全議決権株式であり、株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式です。 また、1単元の株式数は100株となっています。
計	107,429,400	107,429,400		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日		107,429,400		5,286,015		5,285,440

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 4,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 107,406,800	1,074,068	権利内容に限定のない標準となる株式
単元未満株式	普通株式 18,600		
発行済株式総数	107,429,400		
総株主の議決権		1,074,068	

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が11株含まれています。

【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
クックパッド株式会社	東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号	4,000	0	4,000	0.00
計		4,000	0	4,000	0.00

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 要約四半期連結財務諸表の作成方法について

当社は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に定める「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」(以下「IAS第34号」という。)に準拠して要約四半期連結財務諸表を作成しています。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る要約四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けています。

1 【要約四半期連結財務諸表】

(1) 【要約四半期連結財政状態計算書】

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		23,105,395	22,428,686
営業債権及びその他の債権		1,820,744	2,068,783
その他の金融資産	7	26,560	7,531
棚卸資産		24,641	94,316
その他の流動資産		434,718	328,193
流動資産合計		25,412,057	24,927,509
非流動資産			
有形固定資産		923,150	450,764
のれん		140,920	140,920
無形資産		334,869	282,215
その他の金融資産	7	314,692	291,002
繰延税金資産		49,780	49,286
その他の非流動資産		29,961	15,424
非流動資産合計		1,793,372	1,229,612
資産合計		27,205,429	26,157,120

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
リース負債		385,151	344,580
営業債務及びその他の債務		715,170	723,974
その他の金融負債		51,765	42,100
未払法人所得税等		6,015	42,095
その他の流動負債		270,647	254,583
流動負債合計		1,428,749	1,407,331
非流動負債			
借入金	7	40,000	-
リース負債		721,624	329,681
その他の債務		15,726	14,916
引当金		173,022	173,235
繰延税金負債		4,787	4,787
非流動負債合計		955,159	522,620
負債合計		2,383,908	1,929,951
資本			
資本金		5,286,015	5,286,015
資本剰余金		7,194,224	7,194,224
利益剰余金		11,112,155	11,228,172
自己株式		2,008	2,022
その他の資本の構成要素		227,190	634,517
親会社の所有者に帰属する持分合計		23,363,196	23,071,871
非支配持分		1,458,326	1,155,298
資本合計		24,821,521	24,227,169
負債及び資本合計		27,205,429	26,157,120

(2)【要約四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	8	8,697,820	8,103,261
売上原価		67,736	287,954
売上総利益		8,630,084	7,815,307
販売費及び一般管理費		7,756,138	7,680,526
その他の収益		12,019	14,091
その他の費用		92,204	4,087
営業利益		793,762	144,785
金融収益		4,680	7,870
金融費用		58,342	14,430
税引前四半期利益		740,099	138,225
法人所得税費用		568,042	325,235
四半期利益又は四半期損失()		172,057	187,010
四半期利益(損失)の帰属			
親会社の所有者		493,744	116,017
非支配持分		321,687	303,027
四半期利益又は四半期損失()		172,057	187,010
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)	9	4.59	1.07
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	9	4.59	1.07

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上収益		2,911,162	2,701,363
売上原価		26,780	112,669
売上総利益		2,884,382	2,588,694
販売費及び一般管理費		2,545,802	2,729,444
その他の収益		1,609	4,725
その他の費用		3,190	1,296
営業利益又は営業損失()		336,999	137,320
金融収益		1,739	838
金融費用		28,308	13,389
税引前四半期利益又は税引前四半期損失 ()		310,430	149,871
法人所得税費用		200,070	22,187
四半期利益又は四半期損失()		110,360	172,058
四半期利益(損失)の帰属			
親会社の所有者		204,019	63,666
非支配持分		93,659	108,392
四半期利益又は四半期損失()		110,360	172,058
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり当期利益(損失)(円)	9	1.89	0.59
希薄化後1株当たり当期利益(損失)(円)	9	1.89	0.59

(3)【要約四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益又は四半期損失()		172,057	187,010
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定するものとして指定した資本性金 融商品の公正価値の純変動額		-	3,223
純損益に振り替えられることのない項 目合計		-	3,223
純損益に振り替えられる可能性のある項 目			
在外営業活動体の換算差額		408,692	420,278
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計		408,692	420,278
税引後その他の包括利益		408,692	423,501
四半期包括利益		236,635	610,511
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		85,052	307,484
非支配持分		321,687	303,027
四半期包括利益		236,635	610,511

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益又は四半期損失()		110,360	172,058
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定するものとして指定した資本性金 融商品の公正価値の純変動額		-	311
純損益に振り替えられることのない項 目合計		-	311
純損益に振り替えられる可能性のある 項目			
在外営業活動体の換算差額		216,806	162,145
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計		216,806	162,145
税引後その他の包括利益		216,806	162,456
四半期包括利益		106,445	9,602
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		12,787	98,790
非支配持分		93,659	108,392
四半期包括利益		106,445	9,602

(4)【要約四半期連結持分変動計算書】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2019年1月1日時点の残高		5,286,015	7,194,224	12,428,820	2,008	434,304	24,472,747	1,842,619	26,315,367
会計方針の変更の影響		-	-	347,941	-	-	347,941	-	347,941
2019年1月1日時点の再表示後残高		5,286,015	7,194,224	12,080,879	2,008	434,304	24,124,806	1,842,619	25,967,426
四半期利益又は四半期損失()		-	-	493,744	-	-	493,744	321,687	172,057
その他の包括利益		-	-	-	-	408,692	408,692	-	408,692
四半期包括利益合計		-	-	493,744	-	408,692	85,052	321,687	236,635
株式報酬取引		-	-	-	-	9,054	9,054	-	9,054
自己株式の取得		-	-	-	-	-	-	-	-
所有者との取引額合計		-	-	-	-	9,054	9,054	-	9,054
2019年9月30日時点の残高		5,286,015	7,194,224	12,574,623	2,008	833,942	24,218,912	1,520,932	25,739,844

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2020年1月1日時点の残高		5,286,015	7,194,224	11,112,155	2,008	227,190	23,363,196	1,458,326	24,821,521
会計方針の変更の影響		-	-	-	-	-	-	-	-
2020年1月1日時点の再表示後残高		5,286,015	7,194,224	11,112,155	2,008	227,190	23,363,196	1,458,326	24,821,521
四半期利益又は四半期損失()		-	-	116,017	-	-	116,017	303,027	187,010
その他の包括利益		-	-	-	-	423,501	423,501	-	423,501
四半期包括利益合計		-	-	116,017	-	423,501	307,484	303,027	610,511
株式報酬取引		-	-	-	-	16,173	16,173	-	16,173
自己株式の取得		-	-	-	14	-	14	-	14
所有者との取引額合計		-	-	-	14	16,173	16,159	-	16,159
2020年9月30日時点の残高		5,286,015	7,194,224	11,228,172	2,022	634,517	23,071,871	1,155,298	24,227,169

(5)【要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	740,099	138,225
減損損失	83,562	66,944
減価償却費及び償却費	460,751	407,325
金融収益及び金融費用（は益）	32,942	75,524
営業債権及びその他の債権の増減額 （は増加）	51,202	161,425
棚卸資産の増減額（は増加）	4,348	69,675
営業債務及びその他の債務の増減額 （は減少）	21,266	67,986
その他	281,464	12,703
小計	1,104,009	512,200
利息及び配当金の受取額	4,680	7,870
利息の支払額	5,601	6,772
法人所得税の支払額又は還付額（は支払）	1,486,885	155,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	383,797	357,969
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	73,329	136,264
無形資産の取得による支出	49,414	23,313
子会社の取得による支出	20,729	53,282
事業譲受による支出	43,769	-
その他	60,966	10,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	126,274	202,802

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	-	40,000
リース負債の返済による支出	321,356	292,218
自己株式の取得による支出	-	14
財務活動によるキャッシュ・フロー	321,356	332,232
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	831,427	177,065
現金及び現金同等物の期首残高	22,756,245	23,105,395
現金及び現金同等物の為替変動による影響	28,461	499,643
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,896,356	22,428,686

【要約四半期連結財務諸表注記】

1. 報告企業

クックパッド株式会社（以下、当社）は日本に所在する企業です。2020年9月30日に終了した9ヶ月間の当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社（以下、当社グループ）により構成されています。

当社グループは、「毎日の料理を楽しみにする」を企業理念とし、インターネット上で料理レシピの投稿・検索等が可能な「クックパッド」を中心に事業展開しています。

2. 作成の基礎

(1) IFRSに準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第1条の2に定める要件を満たしており、「指定国際会計基準特定会社」に該当しますので、同第93条の規定により、IAS第34号「期中財務報告」に準拠して作成しています。

なお、要約四半期連結財務諸表は、年度の連結財務諸表で要求されている全ての情報を含んでいないため、前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

本要約四半期連結財務諸表は、2020年11月6日に取締役会によって承認されています。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている特定の金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しています。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を四捨五入して表示しています。

3. 重要な会計方針

本要約四半期連結財務諸表の作成に適用した重要な会計方針は、他の記載がない限り、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税は、見積平均年次実効税率を用いて算定しています。

4. 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断

要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが義務付けられています。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直します。会計上の見積りの変更による影響は、その見積りを変更した会計期間及び影響を受ける将来の会計期間において認識します。

経営者が行った要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、前連結会計年度の連結財務諸表と同様です。

5. セグメント情報

当社グループは、「毎日の料理を楽しみにする」事業の単一セグメントとなるため、事業分野ごとの収益、損益及びその他項目の記載を省略しています。

6. 配当金

前第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

該当事項はありません

7. 金融商品の公正価値

金融商品の帳簿価額と公正価値は以下のとおりです。なお、帳簿価額と公正価値が極めて近似している金融商品については、注記を省略しています。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)	
	帳簿価額	公正価値	帳簿価額	公正価値
	千円	千円	千円	千円
資産：				
償却原価で測定される金融資産				
その他の金融資産	325,261	326,308	285,766	286,481
負債：				
償却原価で測定される金融負債				
借入金	40,000	39,778	-	-

その他の金融資産

その他の金融資産のうち敷金及び保証金については、敷金及び保証金の相手方となる物件の所有者の信用リスクが現時点で極めて低いと判断しているため、これらの公正価値は、リース期間にわたる将来キャッシュ・フローを、国債利回りといった適切な指標で割り引いた現在価値に基づいて算定しています。公正価値で測定する金融資産のうち、非上場株式の公正価値については、合理的な方法により算定しています。

借入金

借入金の公正価値は、一定の期間ごとに区分し、債務額を満期までの期間及び信用リスクを加味した利率により割り引いた現在価値により算定しています。

公正価値で測定される金融商品について、測定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じた公正価値測定額を、レベル1からレベル3まで分類しています。

レベル1：活発な市場における同一の資産又は負債の市場価格

レベル2：レベル1以外の、観察可能な価格を直接又は間接的に使用して算出された公正価値

レベル3：観察不能なインプットを含む評価技法から算出された公正価値

公正価値のヒエラルキーのレベル間の振替は、各四半期の期首時点で発生したものと認識しています。

前連結会計年度(2019年12月31日)

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
	千円	千円	千円	千円
資産：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産				
	-	-	-	-
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産				
	-	-	15,991	15,991
合計	-	-	15,991	15,991
負債：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債				
	-	-	-	-
合計	-	-	-	-

当第3四半期連結会計期間（2020年9月30日）

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
	千円	千円	千円	千円
資産：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	-	-	-	-
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	-	-	12,767	12,767
合計	-	-	12,767	12,767
負債：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	-	-	-
合計	-	-	-	-

レベル3に分類された金融商品の変動は、以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

決算日時点での公正価値測定

	純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	純損益を通じて公正価値で測定する金融負債
	千円	千円	千円
期首残高	-	15,991	77,695
利得及び損失合計			
その他の包括利益	-	-	-
その他	-	-	23,756
期末残高	-	15,991	53,939

当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

決算日時点での公正価値測定

	純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	純損益を通じて公正価値で測定する金融負債
	千円	千円	千円
期首残高	-	15,991	-
利得及び損失合計			
その他の包括利益	-	3,223	-
その他	-	-	-
期末残高	-	12,767	-

（注）その他の包括利益に含まれている利得及び損失は、決算日時点のその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産に関するものです。これらの損失は、要約四半期連結包括利益計算書の「その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産」に含まれています。

レベル3に分類されている金融商品は、主に市場価格が入手できない非上場会社の発行する普通株式への出資及び企業結合に伴い認識した条件付対価により構成されています。公正価値を算定する際は、主にインプットを合理的に見積り、適切な評価方法を決定しています。

当該金融商品に係る公正価値の測定は四半期ごとにグループ会計方針に準拠して行われ、上位者に報告され、承認を受けています。

なお、レベル3に分類された金融商品について、観察可能でないインプットを合理的に考え得る代替的な仮定に変更した場合に重要な公正価値の変動は見込まれていません。

8. 売上収益

当社グループは、「毎日の料理を楽しむにする事業」の単一セグメントであります。

国内レシピサービス会員売上の売上収益はサービスの月額料金を毎月末時点の有料会員数に応じて認識し、国内レシピサービス広告売上は顧客との契約に基づく取引価格を掲載期間に応じて認識しています。なお、取引の対価は、国内レシピサービス会員売上については売上認識時点から概ね3ヵ月以内、国内レシピサービス広告売上は掲載期間完了から概ね2ヵ月以内に支払いを受けており、重大な金融要素は含んでおりません。

売上収益はすべて顧客との契約から生じたものであり、サービスの種類別に分類した売上収益の内訳は以下のとおりです。

(単位：千円)

サービスの種類別	2019年12月期	2020年12月期
	第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
毎日の料理を楽しむにする事業	8,697,820	8,103,261
国内レシピサービス会員売上	5,546,317	5,485,755
国内レシピサービス広告売上	2,148,094	1,928,086
その他売上	1,003,409	689,421

9. 1 株当たり利益

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益は以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(千円)	493,744	116,017
四半期利益調整額	-	-
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(千円)	493,744	116,017
期中平均普通株式数(株)	107,425,439	107,425,405
普通株式増加数		
新株予約権(株)	185	15,207
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	107,425,624	107,440,612
基本的1株当たり四半期利益(円)	4.59	1.07
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	4.59	1.07
	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(損失) (千円)	204,019	63,666
四半期利益調整額	-	-
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(損失)(千円)	204,019	63,666
期中平均普通株式数(株)	107,425,439	107,425,389
普通株式増加数		
新株予約権(株)	548	43,776
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	107,425,987	107,469,165
基本的1株当たり四半期利益(損失)(円)	1.89	0.59
希薄化後1株当たり四半期利益(損失)(円)	1.89	0.59

10. 後発事象

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月6日

クックパッド株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 金子 能周 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北尾 俊樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクックパッド株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る要約四半期連結財務諸表、すなわち、要約四半期連結財政状態計算書、要約四半期連結損益計算書、要約四半期連結包括利益計算書、要約四半期連結持分変動計算書、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

要約四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第93条の規定により国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して要約四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない要約四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から要約四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の要約四半期連結財務諸表が、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して、クックパッド株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。